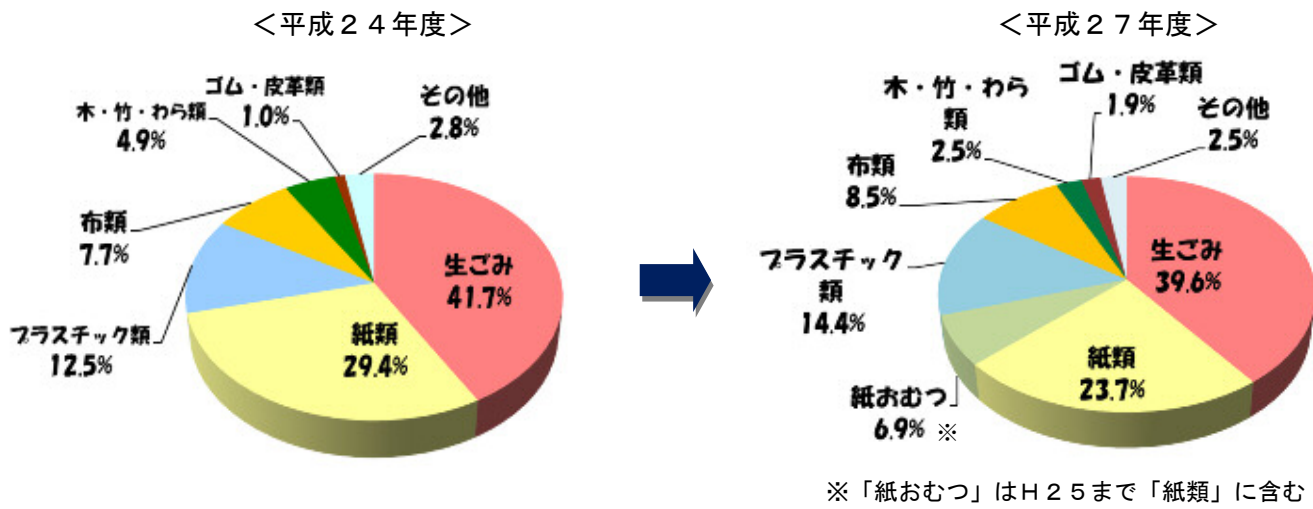


## 家庭系ごみの組成調査結果

### 1. 燃やすごみ（普通ごみ含む）



#### ■紙類の内訳

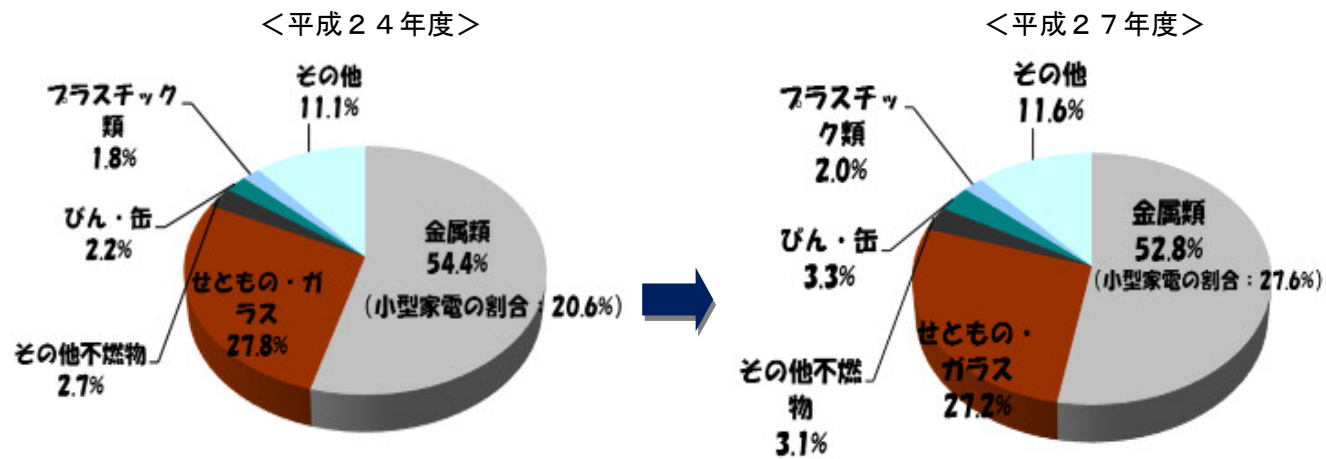
区分		24年度	27年度
資源物	新聞紙	4.0%	3.6%
	雑誌・雑がみ	9.2%	9.0%
	段ボール	0.9%	0.5%
	紙パック	0.5%	0.5%
	計	14.6%	13.6%
その他紙ごみ		14.8%	10.1%
計		29.4%	23.7%

#### ■プラスチック類の内訳

区分		24年度	27年度
資源物	ペットボトル	0.2%	0.3%
	容器包装	10.3%	10.7%
	計	10.5%	11.0%
その他プラスチック		2.0%	3.4%
計		12.5%	14.4%

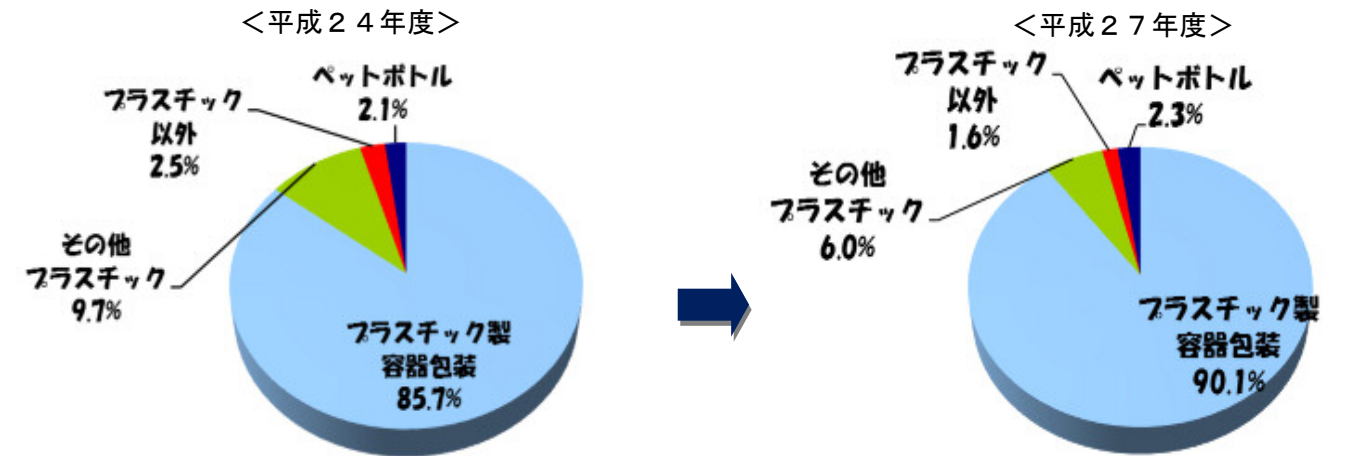
- 全体として組成に大きな変化はないが、紙類に含まれるリサイクル可能な資源物の割合は減少している。
- プラスチック類に含まれるリサイクル可能な資源物の割合は増加している。

### 2. 燃やさないごみ



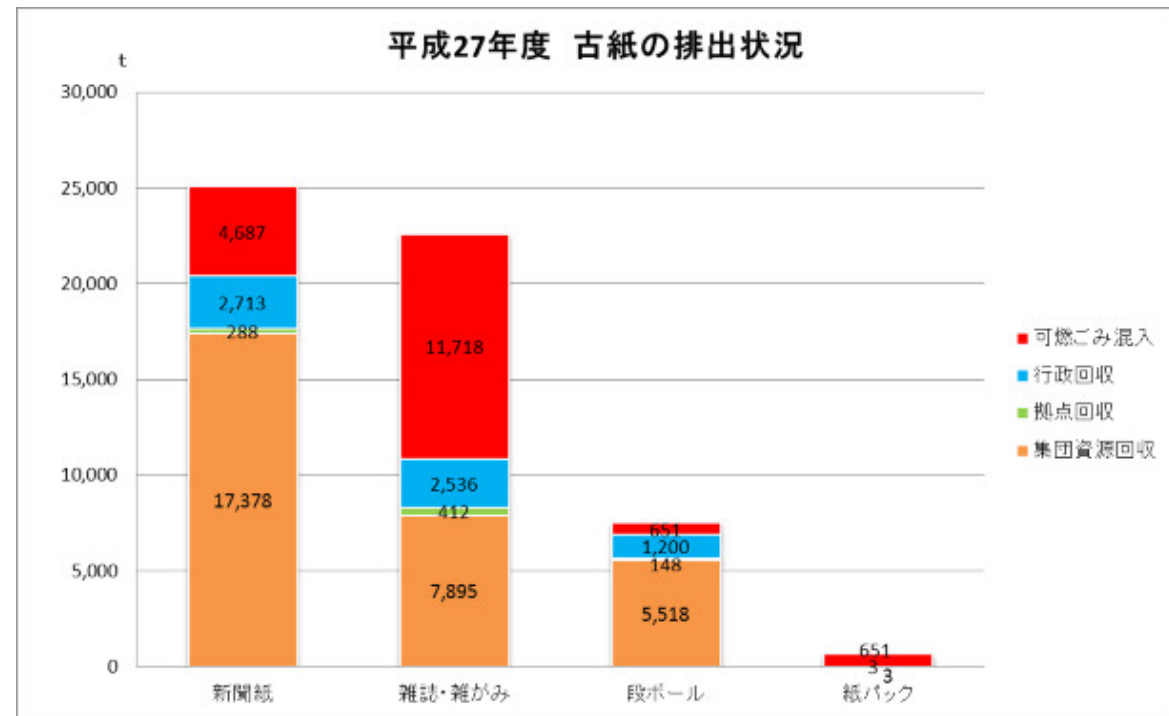
- リサイクル可能なびんや回収拠点に排出可能な小型家電の割合は増加している。

### 3. プラマーク容器包装



- 異物（その他プラスチック、プラスチック以外、ペットボトル）の割合は減少している。（H24:14.3%→H27:9.9%）

【参考：平成27年度 古紙の排出状況】



※可燃ごみ混入分（赤色）は組成割合から算出した推計値

- 可燃ごみに混入する新聞紙は、生ごみを包んだものも多く見受けられる。
- 雑誌・雑がみは可燃ごみ混入量が多く、分別の余地がある。